

# 文明開化の地として誇高く

○：先月より放映が始まる。人だつた。1952年に横須賀高校を卒業。当時はNHKドラマ「坂の上の雲」の制作で、時代考証「これからは戦争よりも貿易路を決める際、恩師に一人と海軍指導を担った。市内「易だ」と盛んに言われていゆかめ山に花ありスミレ坂本町育ち。父は海軍の軍人。た時期で、日本の代表とし「草」という句を教わつたこ

# 人物風土記

題字は  
吉田雄人市長



●NHKドラマ「坂の上の雲」で時代考証と海軍指導を担当した歴史家

## 平間 洋一 さん

戸塚区在住 75歳

とが海自の道へ進む転機になつた。

○：横高時代に和辻哲郎の「風土」を読んだ経験が

○：貧乏な家だつたため、2歳年下の弟が大学に行けるように、学費がかからず「身独立」でき、「国家独立」に携われる自衛官への道を選んだという。高井、現役時代から、風土や校卒業後、久里浜にあつた保安大学校（防衛大学校の前身）に1期生として入学。それから32年間、海上自衛官を勤めた。護衛艦艦長の、隊指令を務め、海将補で停年を迎えた。仕事では防衛計画など、戦略を作ることに携つた。劇中の秋山兄弟と自身では、境遇などで重なる部分が多かつたという。しかしそれは「自分が特別だった訳でなく昭和初期という時代が、明治の気風を色濃く残していたためだろ」と悠々と語る。

○：停年後、慶応大学で論文博士号を取得。それまでの経験が評価され、防大で軍事史を教える教授を10年務めた。国民性や歴史の研究から考察した「戦争と外交」について、数々の本を執筆した。横須賀育ちで海自勤務経験がある歴史学者として、「日本における近代文明発祥の地としての横須賀」を市民の方にもっと知ってもらい、誇りをもつてもらえるように役立ちたい」と意気込む。